

一般診療所における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	17~18	患者のベッドからの移動をするための行為中、バランスを崩し、床に手からついた時に右手親指を痛めた。	30	921	2	50~99
2017	1	8~9	病院敷地内（駐車場）で雪かきをしていたところ、地面凍結している箇所があり、滑って転倒し、右手首をつき骨折した。	53	719	2	—
2017	1	0~1	耳鼻咽喉科で使用する金属綿棒に綿花を巻きつける作業を長期に亘り続けていたため、右手指・右手首等に過大な負荷がかかり、痛みが急激に強くなった。	40	921	19	—
2017	1	8~9	朝通勤し降車後、医院敷地内にて、前日の雪にて凍結した場所で転倒し、右肩を強打し骨折した。	33	719	2	—
2017	2	10~11	仕事中に小走りで移動した際、右ふくらはぎにバーンという音と衝撃を受け、その後、歩行が困難になった。	46	921	19	10~29
2017	2	13~14	患者さんに用があり連絡しようと受付カウンターに入ろうとした時、手前にあったカルテ箱に躓き転倒した。その際カルテ箱の先にあったカルテワゴン下部に右手を差し込み右上腕部を骨折受傷した。	43	379	2	10~29
2017	2	13~14	屋外の廃棄物置き場において、医療廃棄物の処理を行う際に、椅子の上に上がって廃棄物を箱（45×45×80cm）に詰め込む作業をして	41	371	1	10~

			いたところ、椅子の上から転倒し、右手をついて体を支えた際に右肘を突いたものである。				29
2017	2	7~8	外来廊下を通っていた時に足を滑らせてバランスを崩し転倒した。	45	417	2	30 ~ 49
2017	2	9~10	血圧測定・問診を取りカルテ記入台へ移動中、誤って躓き、転倒して左肩を強打し、受傷する。	69	416	2	10 ~ 29
2017	2	10~11	カルテ棚の整理中、左足首を捻ってバランスをくずし右膝を床に打ちつけた。	61	921	2	1~ 9
2017	2	19~20	研修に参加しての帰り道で、バス下車後、歩道を歩いている時、歩道のポールの根元に躓き転倒する。その際両掌を擦りむき左膝を強打する。	47	417	2	10 ~ 29
2017	2	15~16	医療廃棄物を置き場に運ぶ際、外階段の踏み面を踏み外し、転倒した。階段下のアスファルト面に顔面を強打し、顔面打撲・擦過傷を負った。	52	413	1	10 ~ 29
2017	3	11~12	ホールにある給茶機のタンク（2本）が空になったので台車にタンクをのせて厨房に行った。厨房のシンクでタンクに水を入れて厨房のシンクから水が入ったタンクを台車に移す作業をしていたところ、1本目を移すときは大丈夫だったが、2本目のタンクを台車に移すときに腰に激痛がはしり、その場から全く動けなくなった。	37	611	19	30 ~ 49
2017	3	15~16	椅子に座っていた8歳の患者が椅子をずらそうとして、前のめりに倒れそうになった。患者を支え、元の状態に戻すと同時に、患者が乗ったまま椅子の浮いていた脚が右足の上に乗った。	37	391	7	1~ 9
2017	3	15~16	3Fフリーウェイトルームにて、ベンチプレスでトレーニング中に、限界重量（120kg）に挑戦していてバーベルを胸に降ろしている途中に、重量に耐えきれず左上腕骨を骨折した。	24	379	19	30 ~ 49

2017	3	13~14	診察室で診察台の器具を準備中、額帯電燈のコードに右足を引っ掛けたため、左手をついて転び、左肘（橈骨頭）を骨折した。	64	351	2	1~ 9
2017	3	6~7	2階一般病棟でカーテンを開けようとして転倒した。	57	416	2	100 ~ 299
2017	3	10~11	壁に備えつけられているカルテ棚のカルテを取るため、椅子に乗りカルテを取り出したあと、カルテを手に持ち椅子から下りようとしたところバランスが崩れ、後ろにある台に左手を強打し、床に倒れて右足を打った。	50	371	1	1~ 9
2017	4	11~ 12	病室に向かっている時、2階廊下でビニール袋を踏んで転倒した。	57	417	2	50 ~ 99
2017	4	12~ 13	午前中の仕事が終わりに、自宅に帰る時、職場の駐車場で自転車に乗ろうとした時に足を踏みはずして転倒し、立ち上がれなくなった。	52	362	2	1~ 9
2017	5	14~ 15	自動車を運転し利用者宅に訪問介護をする為駐車場に駐車しようとした際、バックをしようとして運転操作をしたが、実際にはドライブ状態のままだった為、アクセルを踏み込み前方の塀に衝突し全身を強打し負傷した。	63	231	17	100 ~ 299
2017	5	9~ 10	被災者がデイルームから事務所へ移動中、右片麻痺の利用者が杖歩行中にバランスを崩して転倒しそうになったのを発見した。被災者は急いで利用者の前方に移動し、バランスを崩した利用者を抱えようとした。利用者は男性で55kg位あり、被災者は結局支えきれずに、利用者が覆いかぶさる形で後方へ転倒し、尻もちをつき左臀部を強打した。	65	911	2	30 ~ 49
2017	5	14~ 15	事務所にて入院カルテを片付けている時、カルテ収納棚（3段）の上から1段目を引いたところ、被災者の足の上にカルテ棚が倒れてきた。	64	911	5	10 ~ 29

2017	5	11~ 12	院内1階フロアにて、外来患者の治療を終えて病棟に移動中、慌てていたため躓いて転倒し、右膝を負傷した。	57	417	2	10 ~ 29
2017	6	8~9	事業場で借り上げしている駐車場での災害車から降り、横にあった木材に躓き転倒した。	49	522	2	1~ 9
2017	6	12~ 13	クリニック駐車場にて、検査伝票を業者へ渡そうとした際、駐車場ブロックに躓き転倒し、右手首を左膝を負傷した。	52	523	2	1~ 9
2017	6	15~ 16	検査室において器械と台の間を移動しようとした時、器械から出ていた電気コードに右足が引っ掛かり、勢いがついていたので左方向に転倒し、左手首を骨折した。	59	417	2	10 ~ 29
2017	6	10~ 11	患者の処方箋を薬局に持参した帰り、小走しりで病院のドアまで来た時、雨で濡れたタイルに足をとられ転倒した。その時、右足首及び右足脛を骨折した。	55	417	2	1~ 9
2017	6	17~ 18	院内の処置室で、高さ2.5mの天井にあるエアコンの風向き調整のため、高さ81cmの流し兼収納棚の上に乗ったが足場が悪く、上を向いての作業であったためバランスを崩し、床に飛び降りた。その時に左足踵に激痛がはしり歩けなくなった。骨折であった。	63	391	3	1~ 9
2017	7	18~19	敷地内にて枠組足場上で（地上からの高さ1.8m）目地の作業中、足を滑らせてしまい、足場から落下し、地面に左手首を強打した。その際、安全帯は、使用していなかった。左手首骨折と診断された。	57	413	1	10 ~ 29
2017	7	9~10	夜勤明けで4階ナースステーションから1階スタッフルームに下りて行く途中、2階の階段（2段目から1段目に下りる際）で右足を踏みはずし、右足首を捻った。その際、左足第2趾も体を支えようとして後方へ転倒し、腰背部を階段に打ちつけてしまった。	58	413	1	10 ~ 29
2017	7	9~10	2階に入居している利用者（女性87歳）のおむつ交換をするため、臥床している利用者（女性87歳）の人のズボンを脱がせようとかがんだ瞬間、腰部に激痛を感じ動けなくなり、近くにいた他の介護職員（女性職員）	36	911	19	300 ~

			の人を呼び事情を説明し、車椅子により一旦休憩室に戻るも痛みが強く、翌日も痛みがあった。				499
2017	7	11~12	当クリニック内のトイレに於いて、意識を失い倒れた患者を運び出すため、バスタオル等を使ってその場から運び出そうとした際、不自然な体勢だったため腰に負担がかかり負傷した。	54	921	19	1~9
2017	7	18~19	工場内にて、団子の生地の入ったタライ（50kg超）を持ちあげたところ、腰と背中に痛みを感じた。	54	921	19	10~29
2017	7	10~11	診療所敷地内で草刈り作業をしようとした時、草刈り機を運ぼうとして十分な体勢をとらずに持ち上げた時腰を痛めた。	74	169	19	10~29
2017	7	11~12	当院内視鏡室に於いて、患者様（下半身麻痺で全介助が必要な方）の処置台のベッドから車椅子への移乗介助中、被災者が前傾姿勢をとっていたところへ、患者様の全体重が一気に腰部にかかり、腰から背部への痛みと下肢の痺れを感じた。	54	921	19	30~49
2017	7	11~12	医院内にて作業中、入院患者の洗濯物を干そうと、屋上（3階）にある階段の踊り場横の手スリに干してある器具の乾き状態を確認しに行った。階段を下りる時、前を良くみていなかったため、階段を踏み外して転倒し、左足を打って負傷した。	32	413	2	10~29
2017	7	20~21	夜間外来消灯、見回りのための巡視時に、右足を捻った。その後、疼痛と腫脹がひどくなり、クーリングと湿布をしたが、翌日受診し、右第5中足骨骨折と診断された。	65	921	19	30~49
2017	7	13~14	被災者は訪問リハビリテーションの職に従事している。1日あたり6~7名の寝たきり高齢者を訪問してリハビリをするという業務形態をとっており、移動には原付（3輪車）を使用していた。事故当日は雨もしくは降雨の後で、走行中にハンドルをとられて転倒して受傷した。	59	231	17	10~29

2017	7	11~ 12	歯科医院内の2階消毒室から3階院長室に通じる階段において、ク リーニング液の入った紙袋を院長室に運ぶとき、最後の一段で足を 滑らせ前方に転倒し、防火扉に右手を打ちつけ、右手首を骨折し た。	58	413	2	50 ~ 99
2017	7	16~ 17	クリニックの受付付近で、他のスタッフの足に躓き、肩から転倒し た。腕が上がらずビリビリと痺れもあったため受診したところ、レ ントゲンでは骨に異常はなく肩の神経が傷ついている可能性がある との診断を受けた。	43	417	2	10 ~ 29
2017	9	12~ 13	患者さんの点滴抜去後、点滴スタンドの足につまずき、その後、そ ばにあった踏台に体をねじった状態で転倒し、負傷した。	71	379	2	10 ~ 29
2017	9	8~9	クリニック待合室にて、掃除機をかけていた時に、隣室へ移ろうと 掃除機を持って移動中、コードが足元に絡まって、そのコードを踏 みつけ転倒、ドアと床に全身を強くたたきつけた。	58	911	2	10 ~ 29
2017	9	14~ 15	1F付近で農業用ビニールハウス内で使用する竹を電動丸型のこぎり で、切断作業をしていたところ誤って、左手親指を切ってしまい負 傷した。	63	131	8	100 ~ 299
2017	9	12~ 13	勤務地と自宅が近い為、昼食を食べに家に帰り、再度会社に戻る途 中、自転車に乗って後方を確認した時にバランスをくずして転倒し て左手、右膝を負傷した。	68	362	17	100 ~ 299
2017	9	11~ 12	訪問先マンションの駐輪場に自転車にて進入しようとしていた、前 の道に駐車車両があったこともあり、やや狭いところ（やや道幅に 下がった傾斜あり、雨上がりで濡れていた。）を斜めに入ったが、 自転車が右側に滑ってしまい、左側に転倒した。	67	362	2	10 ~ 29
2017	9	10~ 11	次の訪問先へ移動のため、自転車で道路をゆるやかな下り坂を下っ て走行中、前方から上がってきた自転車の女性が少しふらついたので 衝突を避けようと左へハンドルを切った際、雨が降り地面が濡れ ていた事もありタイヤがスリップし自転車が左へ傾き、はずみで左	38	362	17	100 ~ 299

			へ体が転がり自転車から転落した。				
2017	9	5～6	病院内にて清掃作業中、階段で2階から1階へおりようとして、意識を消失し転落（2階最上段から踊り場まで約9段）。その際、顔面打撲し鼻骨骨折眉上部裂傷を生じた。	62	413	1	10 ～ 29
2017	9	9～ 10	当院駐車場にて、車から降りた利用者男性を室内に誘導していたところ、利用者男性が転倒しそうになった、支えようとしたが、支えきれず一緒に転倒した。	38	921	19	30 ～ 49
2017	9	11～ 12	処置室で採血の準備をしていて採血台の前に立っていたら、トイレのドアがドンと閉まり、棚の上の箱が前頭部に落ちてきた。午後になり、頭部と左頸部～肩にかけての痛みと吐き気が出現し、部長へ報告し、クリニックへ受診、頸椎捻挫の疑いのため、専門の整形外科へ転院。	45	611	4	50 ～ 99
2017	10	10～ 11	診察所内で医師の診療補助中に、待合室にいる付き添いの家族に診察室に来てもらうために、待合室へ向かう際に、診察台横に設置されているホースに足を絡ませてしまい転倒した。万歳の格好のまま前から転倒したために、両膝を強打した。	55	417	2	1～ 9
2017	10	17～ 18	事業所内にて、カルテをバックヤードへ移動中、通路端の足元にあった踏み台に躓き転倒した。転倒した際、側にあった尿排水シンクに右上腕部を強打し負傷した。	73	379	2	1～ 9
2017	10	12～ 13	レントゲン室にて事故発生。レントゲン室で、患者のレントゲン撮影をする為、位置確認作業をしている最中、足を滑らせ転倒し、左足を捻った上転倒し、負傷してしまったもの。後日、骨折していることが判明。	53	416	2	1～ 9
2017	10	10～ 11	クリニック在中のビル中階段利用中、バランスを崩し2階の上3段辺りから下の踊り場まで10段程度転落し、右下腿を切傷・出血した。	50	413	1	10 ～ 29
		14～	技工室内で鑄造準備をしている時、遠心鑄造機において設計上操作				30

2017	10	15	しにくい部分があり、右手が回転アームに巻き込まれ、右手親指を負傷し骨折した。	22	161	7	～ 49
2017	10	8～9	当院にて1階での朝礼会議のため3階事務室から移動していた。3階の職員専用通路を歩いていた処、通路にある段差で左足を捻り、左第5中尾骨を骨折した。	67	417	19	～ 99
2017	10	11～ 12	当院診察室においてカルテの移動をしていた際、自分の後ろにあった可動する椅子につまずき転倒し右膝を打った。右膝滑液包血腫。	69	417	2	1～ 9
2017	11	17～ 18	当院内において、退勤するため通用口を出て階段（4段）を降りようとした際、段差約30cm付近で踏み外して転倒し受傷した。	44	413	1	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	カルテ室で窓掃除をしている時、狭いので左手左足を左側の棚に掛け、右足は少し開いた脚立に載せていた。拭き終わり、降りようとした時、脚立にかけていた右足に力が入り脚立が動いて閉じ、バランスを崩し床に臀部から落ちた。その際、棚と脚立の間に立て掛けてあった板に左ふくらはぎをぶつけて負傷した。	71	371	1	1～ 9
2017	11	19～ 20	クリニック内の受付窓口で移動中、椅子に足が躓き転倒し、歩行困難となった。そのまま病院で受診した結果、左股関節骨折で入院、手術、リハビリ加療となった。	42	417	2	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	クリニックの2階から緩降機スローダン125を用いた避難訓練を実施していた。被災者が消防設備士による立会と使用説明を受け、着用具（ベルト）を脇の下に巻き、地上に降下したところ、そのベルトが胸の辺りを強く締め付け右7、8肋骨が骨折した。	39	379	7	30 ～ 49
2017	11	0～1	病室で、下半身不自由で常時車椅子で移動される患者様をベッドから車椅子へ、同僚の看護師と一緒に支えながら移乗する際、本人の腰に痛みが走り、その後動くことが出来なくなった。本人はその後救急搬送された。	70	921	19	10 ～ 29
		12～	病院の駐車場へ掃除（ワックス掛け）の為、長椅子を運び出してい				1～

2017	11	13	た時、駐車場の車止めに、不注意にも気が付かず足を引っ掛けてしまい転倒し、左足を負傷した。	44	417	2	9
2017	11	14~ 15	交差点を直進するために一旦停止していた。右側から来た車（事故相手）が左ウインカーを出しながら減速して接近して来たので、左折すると思い、左側を確認し、車は来ていなかったため、発進しようとして動き始めた。すると、右側の車は左折を直前でやめて直進し、自分のバイクと右半身、相手の車の左フロントが衝突した。	34	231	17	1~ 9
2017	12	8~9	勤務先である医院の入り口において、出勤のため扉を開けて入った際に、わずかな段差に不意につまずき、手を出して支えようとしたが間に合わず向かいの壁に激しくぶつけて生じたものである。	60	417	2	1~ 9
2017	12	17~18	仕事が終わったあと、病院から一旦道路へ出て職員駐車場へ向かう途中、患者駐車場と道路の境において、敷地内のポールとポールの間にはチェーンが地面に渡して置かれており、チェーンを跨ごうとしたとき、足が十分に上がらず、垂れたチェーンに足を引っ掛けて顔面から転倒した。	61	419	2	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html